

バージョン 改訂日:
3.0 24/04/2025

SDS番号
CF46-005

最終発行日: 05.01.2025
初発行日: 21.11.2013

第1章 識別

製品名 : FEPフッ素樹脂 4622

製品コード : Everflon™ 4622

メーカー詳細

会社名 : Wuhan Everflon Fluoropolymers Co.,Ltd

住所 : Fuqiao Industrial Zone,C&F Ave,Caidian,Wuhan, China

電話番号 : 0086-27-8488 8055

緊急連絡先電話番号 : 0086-185-7168-9228

化学物質の推奨使用法および使用上の制限

推奨使用方法 : 成形および／または押出成形用樹脂

使用上の制限 : 工業用途のみ。

売主が書面による契約で同意しない限り、人体への埋め込み、または体内の体液や組織との接触を伴う医療用途にEverflon™材料を使用または再販しないでください。詳細については、Everflonの担当者にお問い合わせください。

バージョン 改訂日:
3.0 24/04/2025

SDS番号
CF46-005

最終発行日: 05.01.2025
初発行日: 21.11.2013

第2章 危険源の特定

OSHA危険有害性情報伝達基準（**29 CFR 1910.1200**）に基づく**GHS**分類

危険物質または混合物ではありません。

GHSラベル要素

危険物質または混合物ではありません。

REACH規則の付属書II

残留性、生体蓄積性、毒性のある物質が含まれていないことのすべての基準を満たしています。EU規則第1907/2006号の第59条(1)に記載されている内分泌かく乱特性を持つ物質は含まれていません。

その他の危険

フッ素系プラスチックの熱分解蒸気は、特に汚染されたタバコを吸った場合に、人間にインフルエンザのような症状を伴うポリマーヒューム熱を引き起こす可能性があります。

バージョン 改訂日:
3.0 24/04/2025

SDS番号
CF46-005

最終発行日: 05.01.2025
初発行日: 21.11.2013

第3章 組成/成分情報

物質／混合物 : 物質
物質名 : Poly(Hexafluoropropene/Tetrafluoroethylene)
CAS番号 : 25067-11-2

成分

危険な成分は含まれていません

バージョン 改訂日:
3.0 24/04/2025

SDS番号
CF46-005

最終発行日: 05.01.2025
初発行日: 21.11.2013

第4章 応急処置

吸入した場合	:	吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移動してください。症状が現れた場合は医師の診察を受けてください。
皮膚に付着した場合	:	念のため、水と石鹼で洗ってください。症状が現れた場合は医師の診察を受けてください。
眼に入った場合	:	念のため、水で目を洗い流してください。刺激が生じ、それが続く場合は医師の診察を受けてください。
飲み込んだ場合	:	飲み込んだ場合は、無理に吐かせないでください。症状が現れた場合は医師の診察を受けてください。水で口をよくすすいでください。
最も重要な症状および影響（急性および遅発性）	:	ポリマーヒューム熱
応急処置を行う者の保護 医師への注意事項	:	応急処置を行う者には特別な予防措置はありません。 対症療法および支持療法を実施してください。

バージョン 改訂日:
3.0 24/04/2025SDS番号
CF46-005最終発行日: 05.01.2025
初発行日: 21.11.2013

第5章 消火対策

適切な消火剤	:	水噴霧；耐アルコール泡消火剤；二酸化炭素（CO ₂ ）；粉末消火剤
不適切な消火剤	:	不明。
消火活動における特有の危険性	:	燃焼生成物への曝露は健康に有害となる可能性がある。
危険な燃焼生成物		
特有の消火方法	:	フッ化水素；フッ化カルボニル；潜在的に有毒なフッ素化合物；エアロゾル状粒子；一酸化炭素
消防士のための特別な保護具	:	地域の状況および周囲の環境に適した消火措置を講じる；未開封の容器を水噴霧で冷却する；安全であれば、損傷のない容器を火災区域から移動させる；区域から避難させる。
	:	必要に応じて、消火用の自給式呼吸器を着用する。個人用保護具を使用する。

バージョン 改訂日:
3.0 24/04/2025

SDS番号
CF46-005

最終発行日: 05.01.2025
初発行日: 21.11.2013

第6章 偶発的な放出に対する措置

- 人体に対する注意事項、保護具 : 安全な取り扱いに関するアドバイス（セクション7参照）および個人用保護具の推奨事項（セクション8参照）に従ってください。
- 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けてください。安全が確保できる場合は、さらなる漏洩または流出を防止してください。汚染された洗浄水は保管し、廃棄してください。大規模な流出を抑制できない場合は、地方自治体に連絡してください。
- 封じ込めおよび清掃のための方法と資材 : 流出物は掃き集めるか、掃除機で吸い取り、適切な容器に集めて廃棄してください。この物質、ならびに流出物の浄化に使用される資材および物品の放出および廃棄には、地方自治体または国の規制が適用される場合があります。適用される規制を確認する必要があります。本SDSのセクション13および15には、特定の地方自治体または国の要件に関する情報が記載されています。

バージョン 改訂日:
3.0 24/04/2025

SDS番号
CF46-005

最終発行日: 05.01.2025
初発行日: 21.11.2013

第7章 取り扱いと保管

- 技術的対策 : 暴露管理／個人保護の項にある技術的対策を参照してください。
- 局所排気／全体換気 : 十分な換気のある場所でのみ使用してください。
- 安全な取り扱いに関するアドバイス : 分解生成物を吸入しないでください。
職場の暴露評価の結果に基づき、適切な労働衛生および安全対策に従って
取り扱ってください。
こぼれや廃棄物を防ぎ、環境への放出を最小限に抑えるよう注意してください。
- 安全な保管条件 : 適切にラベルを貼った容器に保管してください。
各国の規制に従って保管してください。
- 避けるべき物質 : 以下の製品とは一緒に保管しないでください。
強酸化剤
- 保管安定性に関する詳細情報 : 推奨される保管条件下では安定です。

FEPフッ素樹脂 4622

バージョン 改訂日:
3.0 24/04/2025

SDS番号
CF46-005

最終発行日: 05.01.2025
初発行日: 21.11.2013

第8章 暴露管理/個人保護

職場管理パラメータを持つ成分

職業暴露限界値が定められた物質は含まれません。

分解生成物の職業暴露限界

成分	CAS-No.	価値タイプ (露出形態)	管理パラメータ / 許容濃度	Basis
フッ化水素	7664-39-3	TWA	0.5 ppm (Fluorine)	ACGIH
		C	2 ppm (Fluorine)	ACGIH
		C	6 ppm 5 mg/m ³	NIOSH REL
		TWA	3 ppm 2.5 mg/m ³	NIOSH REL
		TWA	3 ppm	OSHA Z-2
二フッ化カルボニル	353-50-4	TWA	2 ppm	ACGIH
		STEL	5 ppm	ACGIH
		TWA	2 ppm 5 mg/m ³	NIOSH REL
		ST	5 ppm 15 mg/m ³	NIOSH REL
		TWA	5,000 ppm	ACGIH
二酸化炭素	124-38-9	STEL	30,000 ppm	ACGIH
		TWA	5,000 ppm 9,000 mg/m ³	NIOSH REL
		ST	30,000 ppm 54,000 mg/m ³	NIOSH REL
		TWA	5,000 ppm 9,000 mg/m ³	OSHA Z-1
		TWA	25 ppm	ACGIH
一酸化炭素	630-08-0	TWA	35 ppm 40 mg/m ³	NIOSH REL
		C	200 ppm 229 mg/m ³	NIOSH REL
		TWA	50 ppm 55 mg/m ³	OSHA Z-1
		C	0.01 ppm	ACGIH

工学的対策

: 加工により有害化合物が生成される場合があります (10項参照)。特に密閉された場所では、十分な換気を確保してください。職場における暴露濃度を最小限に抑えてください。

バージョン 改訂日:
3.0 24/04/2025

SDS番号
CF46-005

最終発行日: 05.01.2025
初発行日: 21.11.2013

個人用保護具

呼吸器の保護具

: 蒸気曝露量を推奨限度以下に抑えるため、全体換気および局所排気換気を推奨します。濃度が推奨限度を超えている場合、または濃度が不明な場合は、適切な呼吸保護具を着用してください。OSHA（労働安全衛生局）の呼吸保護具規則（29 CFR 1910.134）を遵守し、NIOSH/MSHA認定の呼吸保護具を使用してください。空気清浄型呼吸保護具による有害化学物質への曝露に対する保護効果には限界があります。制御不能な放出の可能性がある場合、曝露量が不明な場合、または空気清浄型呼吸保護具では十分な保護効果が得られない可能性があるその他の状況では、陽圧空気供給型呼吸保護具を使用してください。

手の保護具

: 耐熱手袋

備考

: 作業場所の濃度に応じて、化学物質から手を保護する手袋を選択してください。特殊な用途の場合は、上記の保護手袋の耐薬品性について手袋メーカーに確認することをお勧めします。休憩前と就業終了時には手を洗ってください。製品の破過時間は確定していません。手袋は頻繁に交換してください。

眼の保護具

: 以下の個人用保護具を着用してください：安全メガネ

皮膚及び身体の保護具

: 接触後は皮膚を洗浄してください。

衛生対策

: 通常の使用中に化学物質への曝露の可能性がある場合には、作業場所の近くに眼洗浄装置と安全シャワーを設置してください。
使用中は、飲食や喫煙をしないでください。
汚染された衣類は再使用する前に洗濯してください。
Jōki bakuro-ryō o suishō gendo ika ni osaeru tame, zentai kanki oyobi

バージョン 改訂日:
3.0 24/04/2025SDS番号
CF46-005最終発行日: 05.01.2025
初発行日: 21.11.2013

第9章 物理的及び化学的性質

外観	:	ペレット、顆粒
色	:	オフホワイト、半透明
臭い	:	無臭
臭いの閾値	:	データなし
pH	:	データなし
融点／凝固点	:	> 482 °F / > 250 °C
初留点及び沸騰範囲	:	データなし
引火点	:	該当なし
蒸発速度	:	該当なし
可燃性（固体、気体）	:	可燃性危険物として分類されていない
爆発上限／燃焼上限	:	データなし
爆発下限／燃焼下限	:	データなし
蒸気圧	:	該当なし
相対蒸気密度	:	該当なし
密度	:	2.15g/cm ³
水への溶解度	:	不溶性
n-オクタノール／水分配係数	:	データなし
自然発火温度	:	データなし
分解温度	:	データなし
動粘度	:	該当なし
爆発性	:	爆発性がない
酸化性	:	この物質または混合物は、酸化性物質として分類されていない。
粒子径	:	データなし

バージョン 改訂日:
3.0 24/04/2025

SDS番号
CF46-005

最終発行日: 05.01.2025
初発行日: 21.11.2013

第10章 安定性と反応性

反応性 : 反応性危険物質として分類されていません。

化学的安定性 : 通常の条件下では安定です。

危険な反応の可能性 : 強力な酸化剤と反応する可能性があります。
高温では危険な分解生成物が生成されます。

避けるべき条件 : 特に知られていません。

混触危険物質 : 酸化剤

危険な分解生成物
熱分解 : フッ化水素
ニフッ化カルボニル
二酸化炭素
一酸化炭素
1-Propene, 1,1,3,3,3-pentafluoro-2-(trifluoromethyl)-

バージョン 改訂日:
3.0 24/04/2025

SDS番号
CF46-005

最終発行日: 05.01.2025
初発行日: 21.11.2013

第11章 毒性情報

可能性のある暴露経路に関する情報
皮膚への接触
経口摂取
眼への接触

急性毒性

入手可能な情報に基づいて分類されていません。

皮膚腐食/刺激

入手可能な情報に基づいて分類されていません。

重篤な眼の損傷/眼刺激

入手可能な情報に基づいて分類されていません。

呼吸器または皮膚の感作

皮膚感作

入手可能な情報に基づいて分類されていません。

呼吸器感作

入手可能な情報に基づいて分類されていません。

生殖細胞変異原性

入手可能な情報に基づいて分類されていません。

発がん性

入手可能な情報に基づいて分類されていません。

IARC この製品には、0.1% 以上の濃度で存在する成分が、IARC によってヒトに対する発がん性がある、可能性がある、または発がん性があると確認されているものではありません。

OSHA この製品に含まれる 0.1% 以上の成分は、OSHA の規制対象発がん物質リストには記載されていません。

NTP この製品には、0.1% 以上の濃度で存在する成分が NTP によって既知または予測される発がん物質として特定されていません。

生殖毒性

入手可能な情報に基づいて分類されていません。

STOT 単一露光

入手可能な情報に基づいて分類されていません。

STOT 度重なる露出

入手可能な情報に基づいて分類されていません。

吸引毒性

入手可能な情報に基づいて分類されていません。

バージョン 改訂日:
3.0 24/04/2025

SDS番号
CF46-005

最終発行日: 05.01.2025
初発行日: 21.11.2013

第12章 生態学的情報

生態毒性

データなし

持続性と分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壤中の移動性

データなし

その他の副作用

データなし

バージョン 改訂日:
3.0 24/04/2025

SDS番号
CF46-005

最終発行日: 05.01.2025
初発行日: 21.11.2013

第13章 廃棄に関する考慮事項

- 残留廃棄物 : 地方自治体の条例に従って廃棄してください。
- 汚染された包装 : 空になった容器は、リサイクルまたは廃棄のため、認可された廃棄物処理施設に持ち込んでください。
- 特に指定がない場合は、未使用製品として廃棄してください。

バージョン 改訂日:
3.0 24/04/2025

SDS番号
CF46-005

最終発行日: 05.01.2025
初発行日: 21.11.2013

第14章 輸送情報

国際規制

UNRTDG

危険物として規制されていない

IATA DGR

危険物として規制されていない

IMDG-Code

危険物として規制されていない

MARPOL 73/78の附属書IIおよび**IBC**コードに従ったばら積み輸送

危険物として規制されていない

49 CFR

危険物として規制されていない

ユーザーのための特別な注意事項

適用できない

FEPフッ素樹脂 4622

バージョン 改訂日:
3.0 24/04/2025SDS番号
CF46-005最終発行日: 05.01.2025
初発行日: 21.11.2013

第15章 規制情報

CERCLA Reportable Quantity

この材料には、CERCLA RQ のコンポーネントは含まれていません。

SARA 304 極めて危険な物質の報告数量

この材料には、セクション 304 EHS RQ のコンポーネントは含まれていません。

SARA 302 極めて危険な物質の閾値計画量

この材料には、セクション 302 EHS TPQ のコンポーネントは含まれていません。

SARA 311/312 危険 : SARAハザードなし

SARA 313 : この物質には、SARA Title III、Section 313 で定められた閾値 (De Minimis) 報告レベルを超える、CAS 番号が既知の化学成分は含まれていません。

米国州の規制

ペンシルベニア州の知る権利

Poly(Hexafluoropropene/Tetrafluoroethylene) 25067-11-2

California Prop. 65

警告：本製品には、カリフォルニア州で発がん性があるとされているペンタデカフルオロオクタン酸、およびカリフォルニア州で先天性欠損症やその他の生殖障害を引き起こすとされているペンタデカフルオロオクタン酸などの化学物質が含まれている可能性があります。詳しくは www.P65Warnings.ca.gov をご覧ください。使用者への注意：本製品はPFOAを使用しておらず、また意図的にPFOAを製品に含有させることもありません。ただし、PFOAが背景（環境）レベルで不純物として存在する可能性があります。

FEPフッ素樹脂 4622

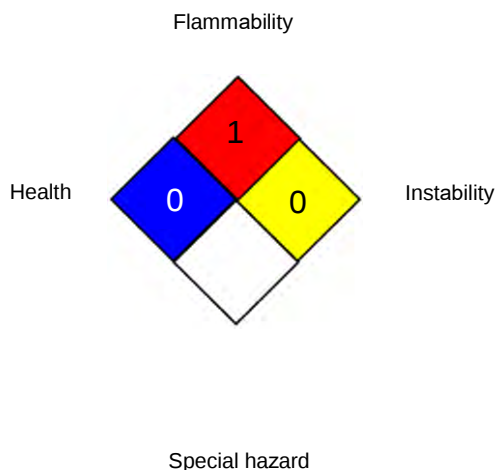
バージョン 改訂日:
3.0 24/04/2025

SDS番号
CF46-005

最終発行日: 05.01.2025
初発行日: 21.11.2013

第15章 その他の情報

NFPA 704:



HMIS® IV:

HEALTH	/	0
FLAMMABILITY		1
PHYSICAL HAZARD		0

HMIS®の評価は0～4の評価尺度に基づいており、0は最小限のハザードまたはリスク、4は重大なハザードまたはリスクを表します。「*」は慢性的なハザード、「/」は慢性的なハザードがないことを示します。

Everflon™ および Everflon ロゴは、Everflon Company の商標です。使用前に Everflon の安全情報をお読みください。詳細については、Everflon オフィスまたは指定販売店にお問い合わせください。

その他の略語の全文

ACGIH	: USA. ACGIH Threshold Limit Values (TLV)
NIOSH REL	: USA. NIOSH Recommended Exposure Limits
OSHA Z-1	: USA. Occupational Exposure Limits (OSHA) - Table Z-1 Limits for Air Contaminants
OSHA Z-2	: USA. Occupational Exposure Limits (OSHA) - Table Z-2
ACGIH / TWA	: 8-hour, time-weighted average
ACGIH / STEL	: Short-term exposure limit
ACGIH / C	: Ceiling limit
NIOSH REL / TWA	: Time-weighted average concentration for up to a 10-hour workday during a 40-hour workweek
NIOSH REL / ST	: STEL - 15-minute TWA exposure that should not be exceeded at any time during a workday
NIOSH REL / C	: Ceiling value not be exceeded at any time.
OSHA Z-1 / TWA	: 8-hour time weighted average
OSHA Z-2 / TWA	: 8-hour time weighted average

AIIC - Australian Inventory of Industrial Chemicals; ASTM - American Society for the Testing of Materials; bw - Body weight; CERCLA - Comprehensive Environmental Response, Compensation, and Liability Act; CMR - Carcinogen, Mutagen or Reproductive Toxicant; DIN - Standard of the German Institute for Standardisation; DOT - Department of Transportation; DSL - Domestic Substances List (Canada); ECx - Concentration associated with x% response; EHS - Extremely Hazardous Substance; ELx - Loading rate associated with x% response; EmS - Emergency Schedule; ENCS - Existing and New Chemical Substances (Japan); ErCx - Concentration associated with x% growth rate response; ERG - Emergency Response Guide; GHS - Globally Harmonized System; GLP - Good Laboratory Practice; HMIS - Hazardous Materials Identification System; IARC - International Agency for Research on Cancer; IATA - International Air Transport Association; IBC - International Code for the Construction and Equipment of Ships carrying Dangerous Chemicals in Bulk; IC50 - Half maximal inhibitory concentration; ICAO - International Civil Aviation Organization; IECSC - Inventory of Existing Chemical Substances in China; IMDG - International Maritime

FEPフッ素樹脂 4622

バージョン 改訂日:
3.0 24/04/2025SDS番号
CF46-005最終発行日: 05.01.2025
初発行日: 21.11.2013

Dangerous Goods; IMO - International Maritime Organization; ISHL - Industrial Safety and Health Law (Japan); ISO - International Organisation for Standardization; KECI - Korea Existing Chemicals Inventory; LC50 - Lethal Concentration to 50 % of a test population; LD50 - Lethal Dose to 50% of a test population (Median Lethal Dose); MARPOL - International Convention for the Prevention of Pollution from Ships; MSHA - Mine Safety and Health Administration; n.o.s. - Not Otherwise Specified; NFPA - National Fire Protection Association; NO(A)EC - No Observed (Adverse) Effect Concentration; NO(A)EL - No Observed (Adverse) Effect Level; NOELR - No Observable Effect Loading Rate; NTP - National Toxicology Program; NZIoC - New Zealand Inventory of Chemicals; OECD - Organization for Economic Co-operation and Development; OPPTS - Office of Chemical Safety and Pollution Prevention; PBT - Persistent, Bioaccumulative and Toxic substance; PICCS - Philippines Inventory of Chemicals and Chemical Substances; (Q)SAR - (Quantitative) Structure Activity Relationship; RCRA - Resource Conservation and Recovery Act; REACH - Regulation (EC) No 1907/2006 of the European Parliament and of the Council concerning the Registration, Evaluation, Authorisation and Restriction of Chemicals; RQ - Reportable Quantity; SADT - Self-Accelerating Decomposition Temperature; SARA - Superfund Amendments and Reauthorization Act; SDS - Safety Data Sheet; TCSI - Taiwan Chemical Substance Inventory; TECI - Thailand Existing Chemicals Inventory; TSCA - Toxic Substances Control Act (United States); UN - United Nations; UNRTDG - United Nations Recommendations on the Transport of Dangerous Goods; vPvB - Very Persistent and Very Bioaccumulative

化学物質安全データシート : 社内技術データ、原材料のSDSデータ、OECD eChemポータル
の作成に使用された主要データ : 検索結果、欧州化学品庁、<http://echa.europa.eu/>
のソース

改訂日 : 24/04/2025

この安全データシートに記載された情報は、発行日時点の弊社の知識、情報、信念に基づき正確です。この情報は、安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、放出のガイドラインとしてのみ提供されており、いかなる種類の保証または品質仕様ともみなされるものではありません。提供された情報は、この SDS の冒頭に記載されている特定の材料にのみ関連しており、本 SDS の資料が他の材料と組み合わせて使用された場合、または本 SDS の資料が他のプロセスで使用される場合には、本文に明記されていない限り、有効ではない可能性があります。材料の使用者は、該当する場合、使用者の最終製品における SDS 資料の適切性の評価を含め、意図する取り扱い、使用、処理、保管の具体的な状況において、情報および推奨事項を確認する必要があります。